

令和元年度生野区区政会議(第1回全体会)  
 いただいた主なご意見等(要約)と区の方考え方、対応

開催日: 令和元年6月21日(金)

場所: 生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の方考え方、対応(要約)
猪俣委員	<p>学校再編は、再編ありきで突っ走るのではなく、教育長の話している内容を鑑みていただいて、一旦立ちどまって、そして冷静に話をする機会を設けるように強く進言したいと思う。</p>	<p>中学校区の再編については、まず生野中学校区は4つの校区がありますが、新たな学校の校名など詳細事項について議論する学校設置協議会に参加されているのは2つの校区で、その協議会において新たな学校の設置時期は令和4年度で決まっていますが、最終的には市会の議決を経て正式に決定します。</p>
室谷委員	<p>生野中学校区、西生野、生野、舍利寺、林寺の学校統廃合は決まったのか。あるいは他の中学校である生野南、田島小学校、大池中学校、あるいは鶴橋、勝山中学校区の避難の問題があったが、それらの学校統廃合の計画は決まっているのか。今の時点での状況をこの場で発言してほしい。</p>	<p>また、田島中学校区や大池中学校区、桃谷中学校区の小学校の再編は決まっておりません。地域・保護者の方のご協力・ご理解がなければ良い学校を作っていけないと思っています。子どもたちの教育環境改善に向けて、引き続き取り組んでまいりたい。</p>
田中委員	<p>少数だからとか、多数だからとかというような数の問題ではなくて、子どもたちの教育の質をどうするかというところがちゃんと話し合うことができなければ、再編というのはなし得ないと思う。施設の問題ではなくて、教育の質の問題をどうするかというところの話し合いについては、みんなで、先ほども言われたように安全の問題、保護者との関係、そういったことをやはりみなさんで話し合う場をつくっていかないと、前に進まないというか、やるやらないも決まらないと思う。</p>	—
服部委員	<p>反対、反対と言うが、会議の場に出てきてもらってその反対の言葉を出してほしい。それによってよい案があれば、賛成してほしい。でないと前に全然進まないと思うので、出てきてほしいということを私はいつも言っている。</p>	—
山本委員	<p>ここで反対や賛成と言うよりかは、現在、学校に行かせているご父兄の方には、協議会も設置されているということですので、そこで色々な意見を出してもらって、1つ1つ詰めていってほしい。できないことはできないでやっていったらいいのではと思う。</p>	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
田中委員	<p>インターンシップの話もあったが、高校生の場合、卒業後に大学に行くか、就職するか、専門学校に行くかの選択肢しかなく、それ以外の選択肢として、自分はこういうことをするのが得意だという子どもがいると思うが、そういう子どもは教育の中で小さくなってしまっているというのが現状だと思う。その中で、そういう不登校などの問題を抱えている子どもたちがいなくなるような学校づくり、どのようにしたらよいのかということをやっぱり考えていかないといけない。</p>	—
田中委員	<p>子どもの送り迎えは大事だし、安全性の面においても場所が近いから、遠いからだけではなく、安全性の面も考慮しなければいけないし、考えなければいけないことがたくさんあるので、ぜひ同じテーブルで、この場だけではなく、もっと違う、もっとたくさん話せるような、提案ができるような場というのをやはり作っていかないといけないと思う。</p>	—
栗信委員	<p>子どもの心、育成を一番に考えていただいて、色々なことをやっていっていただきたいと思う。先ほどから話を聞いていると、何か大人の見栄やプライドなど、色々なものが感じられてならない。やはり子どもの数が減っているというところで、箱庭的な教育を子ども自身が受けてしまった場合、結局は大人になって大変な社会へ出て行った時に、ひ弱な心のままで育つということは、私には考えられない。以前にも申し上げたが鶴橋中学校のクラブ活動を見にいった際に、少人数でやっていたが、子どもの心は本当にこの好きなものに向かって突き進めるのか。やっぱり子どもたちが挫折するようなことがあってはならないと思っていた矢先に、桃谷中学校という形になり、私は反対にほっとはしているんですが、先ほどから皆さんの意見を聞いているが子どもの心を忘れてはいないかと思う。区長は、やっぱり里親制度のことを一生懸命されてきているということは、やはり色々な心の傷を受けた子どもたちがどんどん増えているということだと思う。それに向かって、やはり箱庭的な教育を受けて弱い、柔い心で育ってしまっただけではいけないと思う。それは安全面も色々あるだろうが、それは皆さん大人が知恵を出し合っただけでこその教育だと思う。子どもの心を忘れないでしっかりと議論をしていただきたいと思う。</p>	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
<p>亀田委員</p>	<p>ろう学校前での事故があったが、それについて、ガードレール設置や通学路の話もあったが、安全点検などをした場合のガードレールの設置や安全面の対策について、区としても何らかの取り組みをしているのか。</p> <p>あと防災計画の絡みで大池中学校で中学校の防災について、教室など、どこがどう使える、使うとか、小学校が何校かあるが、なかなか合同で話し合いをする場ができない、そろわないのでできない状況である。地域でも大池中学校のほうは近い、中川であれば町会があるが、その場合、大池中学校に行ったとしても、今のところ防災計画が出来上がっていないので、どこの教室を使って、どのように割り振りをするのかというのが全く決まらないまま、どうしたらよいかということを毎回防災の会議で聞かれるようになってきているので、そこらを区としてサポートできる取り組みなどされるのかを聞きたい。</p>	<p>子どもたちの安心安全ということですが、この間色々な事故等が起こっています。大阪市では、子どもたちの登下校の通学路の交通安全プログラムということで、年間4校ぐらいを順次、区役所が中心になり、建設局、警察、学校と一緒に通学路を点検した上で、危険箇所については、どのような対策がよいのかということを検討させていただいた上でガードレールなど、なかなか難しいところもありますが、必要な対策を行っていくという取り組みをしています。そういったことを引き続き進めながら、安全対策を行ってまいりたいと思います。</p> <p>あと中学校の防災、避難所の関係ですが、各地域が重なるところもあるため、一緒になって考えていかなければいけないということでは進めています。ただ、なかなかうまくいっていないところも実際はありますので、急にこれをやったらうまくいくというのとは、難しいかもしれないですが、区役所も中に入らせていただいて、できるだけスムーズにいくような形で関わらせていただきたいと思っています。個別の課題にもなるとは思いますので、また改めて色々なお話ができればと考えております。</p>
<p>山本委員</p>	<p>事前に意見を出した内容について、区の回答では、「大阪市市内環境管理計画」に基づき、平成11年度から庁舎内の冷房時の設定温度を28度としているとのことだが、これは20年前に定めたものであることから、適宜、状況により設定温度を下げるなどの工夫をすればよいと思う。</p>	<p>設定温度について、大阪市市内環境管理計画の中に定められていますが、元は環境省による事務所の衛生基準規則にて定められおり、室温の範囲が17度から28度の間となっています。委員ご指摘のとおり、湿度なども加味しながら適宜対応していきます。</p>